



令和8年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和8年6月5日(金)14時00分から
場所	三川内地区コミュニティセンター うつわ歴史館2階ホール
テーマ	公共施設の再編と四季彩館の今後について
出席者	地域参加者10名、市長及び関係部局長等3名 合計13名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

地域参加者

- 三川内の伝統産業会館はすでに工事に入っており、2年かかるということで、令和10年の10月ぐらいにリニューアルというふうに聞いている。その後このコミュニティセンターの、公共施設の改築というか施設の移動ということで予定を組まれているという。予定の場所について市の方でどのようなお考えをお持ちであるのか。
- 今会長が説明したように昔中学校跡地に支所或いは関係施設が建設されてからかなり年数が経ち、建て替えの時期になっているということで、支所関係が新たに移設して立派な建物が建つように。その施設の中にもう少し市民が憩える場所ができればなということも付け加えさせていたきたいと思う。
- 施設再編のイメージが湧かないが、農協さんの建物や裏に市の資料が入っている建物がある。もう十年ぐらい前から撤去してくれと言っているが、全部撤去してここを広くできるのか。あれは要らない。

市民生活部長

- 公共施設の今後の整備案について。うつわ歴史館が伝統産業会館の方に移って、うつわの歴史館の建物が空くといった形になる。今現在考えている計画の大きなラフなところでいくと、この1階のうつわの歴史館のところに2階にあるコミュニティセンターの部分を持っていったり、また、少し離れたところにある体育室が一定年数経過していることから、三川内支所とコミセンの体育室を複合化して新たな施設を整備するという案がある。ただし、当然地域の皆様のいろいろな意見をいただきながらということになるので、市としては新しい施設の機能や配置案の検討を今後行っていく中で、皆様と対話を進めながら、地区の建設委員会での合意を図っていくというような流れになろうかと思っている。
- 27地区あるコミュニティセンターの施設の整備には、人が集まれるように、いわゆるコミュニティスペースというものを設けて、地域の皆様にお寄りいただいたり、本を置いたり、そういった所を支所やコミセンに集約してお使いいただけるようなことを考えている。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

市民生活部長

- 倉庫、水防倉庫、JAさんの集会所、公衆トイレ等、この敷地の中には広いがゆえに各種の施設が点在しており、それぞれ所管がある。大きく市の公共施設の再編といった考えの中で、どこまでどう手を入れることができるのかというところは今後の調整になろうかと思う。ここの建物自体の老朽化があり、いろんなところの調整をすべて終えるまで待つのか。それとも今、少なくとも支所やコミュニティセンター等の多くの皆様が日常的に利用されている所を中心に施設の再編をして、早く皆様にご利用いただけるようにするのかなというところもある。先ほど申し上げた地域の皆様の、地区の建設委員会のご意見を伺いながら進めていくことになる。今日はまだどのようにするという青写真、これが決定というものはないのでご理解いただければと思う。

市長

- 支所とコミセンについてはこれからの計画になろうかというふうに思うが、案がいろいろあるので、これから市民生活部を中心として、まずは地域の皆様方としっかりとお話をさせていただく。なんといっても新たな施設をつくる中で、我々もやはり地域の皆様方の使い勝手がいいようにつくりたいというのが望みなので、ぜひこれから連携をとらせていただきながら、これからの支所・コミセンの建設についてまた検討させていただきたい。そこにおいては、先ほどお話があったとおり小さい子ども達から高齢者の皆様方まで、いろいろな世代に来てもらうような施設というのがやはり望ましいと思っている。今すでに、老朽化したコミセン・支所の建て替えに取り組んでいる地域があるが、その中でも私もそのことをしっかりと申し上げている。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

地域参加者

- 四季彩館というひとつの買い物に対しての場所について。人口減少により、今後採算が取れるかどうかはもうまず無理じゃないかということで、お店というよりもコミュニティの場をどうにかして提供したいということがひとつある。

ただ、私たちの中で話をしたが、これだけの広大な土地をどういうふうに市の方が考えておられるのか。或いは、その土地を第三者に利用してもらうとなった場合もなかなか難しい話で、そういった場合に、ひとつの考え方として道の駅を提案させていただければいいかなという話し合いを皆さんと一緒にしていた。

道の駅ってというのはどういうことかと言えば、インターがすぐそばにあるので、そちらをやっぱり。それとハウステンボスというひとつのこの流れ、その中に三川内も存在しているので。市、県というより、国の方にそういう話をさせていただくと。経営として地元の人が行うというのはなかなか難しい話なので、国の方からのご支援をいただくという、そういうことをちょっとずつ考えている。

- 今四季彩館はかなり有効に使われていると思うが、採算が合わないということで、いずれ撤退をされると。市の建物内にそういった民間企業を入れるのは困難という話は聞いているので、そういう買い物困難者のためにもできればそれに代わる、さっき会長が提案したように、道の駅みたいなものを誘致していただけないかなと。できるだけ三川内の活性化に繋がる起爆剤になればと思う。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

地域参加者

- この場所は広い場所なので、全くもったいないなというふうに感じている。

国道があり、いちばん端にある場所なので佐世保の入口になると考えている。例えば入口に道の駅があればいろんな方たちに寄っていただける。それに佐世保自体の名所がここで全部わかるようにすれば、その人たちが仕事で来られても、休みの日に「じゃあここに行ってみようか」というような形で、佐世保全体が潤うんではないかなということも考える。

この三川内の地域の人たちにとってもまず買い物に来る場所が。ここは非常に近いし、正直なところ交通の足がない。90歳過ぎた人がここまで車で買い物に来るが、本人も見ている方もそれ以上遠くへ行くのは危険だと感じる場合もある。「ここに集まれば何でもそう、生活するのには困らない」というような場所ができれば、最高にいいんじゃないかなと考えている。

まず賑やかにしないことには。佐世保の人口が減っている状態なので、どんどん他から呼べるような形で、お金も落としていただければいいのではないかと考えている。

- 佐世保自体を賑やかにするとすると、27地区あるためどこから手をつけていくか、市としては大変なこと。もし三川内をどうしようかとなった時、どれだけ市の方が考えてらっしゃるのがあるかなというのがひとつ疑問としてある。

三川内を良くするということは、佐世保の方も潤うということになるんじゃないかと思う。西九州広域都市圏があるが、あちらから見た時に佐世保の中心街というよりも三川内がちょうど県の境にある。有田、伊万里、川棚、波佐見、東彼、いろんな意味でちょうど三川内は中心になる。その点を考えた時に三川内の立場をどのように今後考えていかれるか、非常に私たちとしては関心を持っている。

三川内自体が人口が減っており、お店を作ったとしてもまず採算も合わない。人口が減るためそういう意味では難しいが、先ほど言った道の駅という大きな駅を作ることによって県外の人も含めて動員するという、そういうことになると思う。いずれにしても全体で盛り上げるということで考えていただきたいと思っている。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

経済部長

- 道の駅は国土交通省が登録をしていく施設だが、休憩機能、情報発信、地域連携という3つの機能を満たさなければならない。なにより、道路管理者がしっかりとそこに許可というか、一緒にやるよという形がないといけないというのが一番肝になる。

休憩施設というのは、24時間誰でも利用可能な駐車場とトイレをしっかりと準備をしないといけない。情報発信では、道路情報や地域の観光情報とかをきちっとお伝えするような施設を備えなければならない。地域連携というのが、まさに文化教養であったり、観光、レクリエーションだったり。全国の例を見ると、物販の施設やレストランがあったり、場所によっては温泉があらうかと思う。これを設置をしていくのは、当然その道路管理者としっかり協議をやってということになるので、市のみ意向でできるといったものではないというのが、大前提にはある。

こういったことを国に届けて欲しいというお話もあった。実はこの道の駅及び類似するような施設、例えば直売所とか、こういったことも他の地域の皆様からご要望というか、そういうのがあればいいのにとというようなお話もちらほら伺ったりしている。

そのためこの道の駅をすぐさまどうするといったところの結論は非常に難しいかと思っているが、例えば可能性としてどうなのかといったことは事務レベルの中では少し頭捻っていく必要があるかなというふうには思っている。

なかなか一足飛びに簡単にできるようなものではないというのが大前提にあるので、そのところは我々も今後研究をしていきたいと思っている。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

市長

- 道の駅については先ほど経済部長が説明をしたとおりだが、そうした可能性についても模索していきたいというふうに思っている。いずれにしても、先ほど申し上げたインバウンドの皆様方、外から来る皆さん方の集客というものを一定考えながら、これから商業施設のあり方をぜひ検討をさせていただきたいと思っているので、引き続きよろしくお願い申し上げます。
- 自治協会長から、27地区それぞれの振興というふうな話もあった。できることからしっかりとやっていきたいが、27地域、それぞれの特徴、特性があるので、それを生かしたまちづくりをぜひこれから進めていきたいなというふうに思っている。

三川内地区は、冒頭おっしゃったとおりに大変風光明媚で長閑な所で、農業・工業・商業それぞれあって、バランスの取れた良い地域だと思っている。その中で、三川内はやはり佐世保を代表する三川内焼が我々にとっては財産だと思っている。冒頭申し損ねたが、実は今年は日本遺産が認定されてちょうど10周年になる。日本遺産は佐世保市内では2つ。1つは旧海軍の施設である鎮守府。そしてもう1つは陶磁器の里。その三川内焼というのがもう1つであり、認定10周年というものを機にぜひ今年度はこの2つの日本遺産をしっかりと打ち出せるように様々な取り組みを行っていきたいというふうに思っている。

陶磁器については三川内焼、波佐見焼、有田焼、伊万里焼がある。そこで今、九州観光機構という団体があって、そちらの方でこの秋に博多の方で三川内と波佐見と有田、これを取り上げた大々的なイベントを行いたいという話をさせていただいているので、そうしたことも含めて、これからこの1年はさらに三川内焼をフィーチャーできるような、そのような1年にしていきたいなというふうに思う。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

地域参加者

- 5年前か四季彩館売店を作る余地はないというような青写真をいただいたが、できれば市の施設の中にそれが入れるような設計をしていただきたいと思う。後から工事するのではなく、少し余裕を持った建物の建て方をして欲しいと思っている。



- 四季彩館には普通生活できるような生鮮食品がある。波佐見なんかはスーパーが複数あるが、三川内はバスも少ないし、歩いて買い物に行ける場所というのはほとんどない。民生委員をしている関係で高齢者とよく話すが、今は1キロ弱歩いて買いに来て、それができなければ敬老パスで佐世保駅のスーパーまで行って帰ってくるっていう人が多い。頻繁に行かないため、日常生活の生鮮食品は自分で買い物できるこの四季彩館で、すごく便利というか必要。今お話を聞くと、四季彩館も採算が合わず、エレナさんも出店は難しいという話で、スーパー的な買い物の店がなくなるといことがあると。なくなると困るので、買い物ができるところはぜひ残してほしい。人が少ないため採算が取れず、スーパーも維持できないと思うが、もう少し広げて言えば、市街化調整区域になっているのでそれを外したら。人が増えないことには買い物需要もなくなると思う。誰が運営するかは私たち自治会と市の方で頭を捻って、今の規模以上とは言わないので、満足して買い物ができる施設をぜひこの施設再編の中で残してほしい。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

地域参加者

- スーパーについて、例えばこの施設再編で案が固まって実際稼動するまでには数年かかると思う。今現在、経済部長の方から買い物移動車があるとおっしゃっているが、それだけでは足りない。今度宮が始めたそうだが、民児協でボランティアが車と運転手を出して損害保険をかけて、月1、2回買い物需要のある住民を集めてスーパーまで行っている。いちばんのネックはボランティア。誰彼できない。報酬や損害保険の問題がある。施設等から車を借りたり、苦勞しながら地域住民の今ある切実な買い物要求に対して行動を起こしているところが、27地区自治協の中でも幾つかある。三川内でも始めようかと思ってこの前打診したら、どうしても人・もの・金、事故の場合の問題がある。このような地道な活動で今取り組んでいる地区自治協、民児協がある。

市民生活部長

- 物販のような施設の特徴を設けるというお話については、以前こちらの方が地元の方にお伺いをしたときに、一旦それは切り離して今の支所とコミュニティセンターの機能のところを中心にお話を進めていただきたい、というようなご意見もいただいていることから、今後引き続き地域の皆様との協議の中で進めていければと思っている。

経済部長

- まず、日頃から四季彩館をご愛顧をいただいております。ありがたく思う。再三皆様の方からお話が出ており、今運営をしていただいている物産協会さんの方と我々も話をさせていただいている。この一帯の施設の再編がきちっとできていくまでは何とか頑張るというふうなお話もいただいたりはしているが、なかなか採算の面も含めてぎりぎりというか、きつい中も運用していただいている状況にある。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

経済部長

その中でこの地域の買い物の状況が厳しいというのは、私もよくこの地域にも足を運んでいるので痛感している。現状で申し上げますと、先ほどエレナさんというお話があったが、移動販売車のパオパオ号がこの地区の方も週に2回周って、地域の皆様方にそういう(買い物できる機会を)ご提供をいただいている。或いはコープさん、生協さんも送迎の車を出されたりとかのサービスを展開しておられる。我々も他にも何か手立てがないかといったところは探してみたいと思うが、まずはこういった民間サービスをご利用いただきつつ。また、(買い物できるところを)この場所に残して欲しいという話もあったが、公共の建物の設計の中で可能かどうかといったことは、これから協議が進められるのかなと思う。

市長

- 就任以降、三川内焼を生かした産業の振興を掲げており、特に国際観光クルーズ船社の幹部にお会いした時に必ず400年の歴史を誇る三川内焼についてお伝えしている。絵付体験や焼物の購入、また、窯元の皆さん方から直接歴史や伝統の説明を受けて購入してもらうという。説明を受けることが海外の皆様方には貴重な経験なので、そうしたことに非常に食いつきが良く、今三川内の方にも多くのインバウンド観光客が訪問しており、その点については窯元の皆様方からもご評価をいただいている。これからも誘致をして、三川内の活性化に繋げていきたい。その中で、例えば新しい伝統産業会館ができて、インバウンドの方に来て見てもらう。そこで三川内焼に加えていろいろな三川内を中心とした地域の産物を買っていただくという意味では、何か付随する施設がこれから必要になってくるのではないかと思いますので、これからも地域の皆様方或いは産業界の皆様方と一緒にそのニーズを探りながら、これから検討をしていきたいなというふうに思う。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

市長

日々の生活に関わる商業施設という意味では、非常に地域の中核にある場所なので、我々もぜひこの場所に何か商業施設があるのが理想だと思っているが、いちばんの課題はやっぱり採算性になるかと思う。我々も誘致、お願いができたとしても、それ以降の運営については民間の皆様方をお願いをしなければならないので、どうしてもこの売り上げが上がっていかないと、仮にここで店を作ったとしても長続きはしないということになる。そこはこれから地域の皆様方とも話をしながら、どういうものが必要なのか、どういう規模のものが必要なのかということも含めて、少しいろいろと検討を重ねていきたいなと思っている。

- 市街化調整区域についてはいろいろなご意見が今上がってきており、住宅を含めて地域の住民の皆様方に必要なものが建てられるように緩和できる部分は緩和するべきだと申し上げている。しっかりと庁内でも、また庁外の様々な皆様方のご意見もいただきながら市街化区域・調整区域のあり方、線引きのあり方について見直しをかけていきたいと考えている。

地域参加者

- 市民生活部長の方から建物の中にコミュニティスペースという部屋を設けるという話をされたが、これはどういう使い方をすればいいか。現地の人たちが休んだりすることはもちろんいいだろうが、例えば部屋に自動販売機を置くとか、そんなこともできるのか。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

市民生活部長

- コミュニティスペースというのは、今でも例えば図書コーナーがあるところもあるが、テーブルもベンチもいくつかあるかないかっていう程度で、なかなかそこに皆様に集っていただく場所が少ないというのが現状。今新しく整備をしている施設は、図書やベンチ、椅子の他にテーブルと丸椅子を配置したりして、地域の皆様が講座等の帰りにちょっと寄って少し談笑されたりできる所を設けている。

また、地域によっては学生の利用もあったりするのではないかとということで、少し学習等ができたといった感じの机と椅子を配置したりとか。市民の皆様が憩える場所、集える場所という視点も持ちながらつくっている。そこに自動販売機を置いていいかどうかについては担当の方から答えさせていただく。

コミュニティ・協働推進課 主幹

- この敷地内には外に自動販売機を置いているかと思う。これは市の土地を民間にお貸しするような形で、少し市の方も収入を得ているという立付けになっている。建物の中に置けるか置けないかと言われると、置ける。ただ、外に置いているのに中にも置く必要があるのかというところは、売り上げが分散するだけの話だったりもするので、効率性を少し考えながら置くことにはなるかなと思う。

他の地区のコミュニティセンターでも、市から場所を借りて自治協議会が自動販売機を置いて、少しその収入を得られているというような取り組みもあるので、そういったことは私どもも情報としてお伝えできるかなというふうに思う。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

地域参加者

- 市長の方から力強い支援の言葉をいただいて本当にほっとしているが、まだまだ三川内としては発展するところがたくさんある。例えば三川内町民の皆様が自発的にいろんなイベントをしたり。町内のイベントというよりも、例えば、この前ちょっと話をしていたが、三川内はどちらかといえば平坦な道が多いのでサイクリングロードを。レンタルを置いて、三川内の窯元等を回ってもらうとか。そうやって三川内町の自然の良さを体験してもらうのはいいんじゃないかなと。いろんな考え方でイベントをSNSで発信するとかもいいんじゃないかなと。

これは佐世保市の方でもいろいろとお手伝いをしていただきたいが、やはり住民の方もいろんなアイデアを出していかなくてはいけないと思っているので、今後とも佐世保市の方からも三川内の方に目を向けていただいて。本当に佐世保市の発展のためには三川内は絶対必要だというふうに考えていただきたいと思っているので、よろしくお願いします。

- 去年まで横手町内会の会長をしていた。うちの町内は43所帯しかない小さな町内で、その内子どもと言ったら二所帯しかなく、その所帯の中でいろんな活動をしている。

去年、壁新聞コンクールで金賞をいただいて。本当よく、子ども数がないのに誰がここまで一生懸命するかなあというのは、ほんと頭が下がる。それとまた、蛍の鑑賞と先ほど出たが、うちの町内も5月29日に小森川の横手橋で蛍の鑑賞会があった。それで現地に行ってホタルを見るということで、その前に公民館でホタルに対する勉強会を川棚の講師がされて。そういう時、7時半から9時ぐらいまでかかる。大人ももちろん参加するが。その時ちょっと気づいたが、やっぱり県道沿いで夜中でも車が通るため、イベントで事故の可能性もある。そういった時に、街灯とかいうのも、明るくなるようにイベントの時だけでもどうかならないかなあと思ったりもした。何かする時に、今以上に何か補助とか、いろんな町に対するイベントを起こした時の助成とか何かが、手軽に対応できるような制度や仕組みを組んでももらえないかなあとし感じた。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

市民生活部長

- 教育委員会の社会教育課等で担当しているようなので、ご意見を持ち帰って担当の方にお伝えさせていただく。

市長

- 町内連合部会長から国道の話があったが、もしけがや事故があっては遅い話なのでそうした危険な箇所については特に、何かあったらすぐに仰っていただければ、道路の管理をする国に対しても対応を要望したいというふうに思う。今、国もなかなか大変な部分もあることを加味しながら、やはり地域の安全安心と生活環境の保全というのは非常に重要な課題なので、点検をしながら道路の管理を国県と一緒に頑張っていきたい。

地域参加者

- 国道が有田に比べるとかなり傷んでいる状況。そういう状況を見ると、やっぱり国土交通省が人口が少ない三川内をちょっと置き去りにしているんじゃないかという気もすることがある。支所を出て国道を中心部に走るとかなり路面が傷んでいる状況で、それがそのままの状態ですずっと続いている。やっぱり施設再編の際にはそういったところも国と協力していただいて、整備していただけたらと思う。

地域参加者

- 下に図書室があって、そろばんの教室の子どもたちかと思うが、子どもたちが学校帰りに図書室に帰ってくると館長がおっしゃっていた。「子どもたちが来るから楽しいよ」と言っている。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

市民生活部長

- 確かに下に綺麗に整備された図書とちょっとしたスペースがあるので、イメージとしてあのようなものをきちっと整備後の施設の方にも設けたりすることで、子どもさん方もお寄りいただきやすいような感じのイメージを実現していきたいなと思っている。

市長

- 副会長がおっしゃったように、今子どももなかなか居場所がないようで、市役所13階のラウンジでは毎日のように中学生・高校生が勉強をしている。そういう自習をする場所や、友達が集まって意見交換や情報交換等をしながら勉強をする場所が少ないので、そういうスペースもそれぞれに設け、やっぱり子どもたちにも学生にも寄ってもらうような憩いの場所にしたいなと思っている。その点についてはこれからなので、いろいろ皆様方からしっかりとご意見を聞きながら、これからの建て替え問題に取り組んでいきたいと思う。

地域参加者

- (飾ってある凧について)去年のふるさと祭りの名前を変えて、サンフェスというスタートをした。そこで地域の方、横手の方が旗をいっぱい作られていて、「第1回目だから、自分が作って寄付をします」ということでいただいた凧。

市民生活部長

- 冒頭にこの2順目のテーマに「しんか」というサブテーマを言ったが、「しんか」にいろいろな漢字がある中、真の価値というところの「真価」という漢字がある。地区を回らせていただく中で、地域の皆様が地域の価値をそれぞれに見出して、こういった活動を取り組みされているのも掲示されていたので、事務局長ご紹介どうもありがとうございました。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

地域参加者

- 「自然共生サイト」に認定された。小森川の500メートルぐらいの端と端の間。夜そこに行くと蛍がまだ残っているが、本当に少ない。5匹か、多くても10匹。今、ゲンジボタルがいて、もうしばらくすると小さい蛍が出てくる。せっかくそこに認定いただいたので、我々も気づかって掃除はしているが、蛍をもう少し増やしたいなっていう感じもある。カワニナとかああいうのをどうにか手に入らないかとちょっと探してみたが、なかなか見つからなくて。そこあたり何かこう助けてもらうことができないかなとは思っている。
- (カワニナが)うちの横の溝の川にはいっぱいいる。
すでに少し蛍もまっている。今年は少ない感じがする。柚木はどうか。飛んでいるのか、多いのか。
- 小森川の件。この前視察で私たちも行った。今のところは管轄が環境省だが、今年から農水省と国交省が参加するということで、多分手厚いことができるんじゃないかなと思ったりもする。このところは今期待しているかなと思っている。

市長

- 地域自然サイトの話、今の環境省に加えて農水省も国交省もというお話があるということなので、ちょっと持ち帰って、いろいろとやれることがあるのか少し検討させていただきたいと思う。
- 明日、ホタル祭りなので確認してみる。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

地域参加者

- 町内会長をしている。未加入はいいが、脱会。おそらく子どもさんがいなくなったらもう関係ないということで脱会する。それに、町内会のメリットはないってことを言われて町内会を脱会する。街灯とかどぶさらいとかみんなでしているの、脱会したら他の人に負担が増えるということで町内会長として止める。私達、町内会長としての魅力のアピールとかが足りないかもしれないが、抜ける。そういった意味で、補助金がどうのこうのとか言わないが、まちづくり補助金が減額になった。貴重な財源。町内会費は1000円とか1500円で行っている。そういう補助金を私たちうまく使って、町内町民集まるイベントなんかをしている。それなりの財政的なものがあって減額したんだろうけども。返事はいらない。
- 暖房費は受益者負担で構わないが、公共施設を使う時に会場使用料。今私たちここで毎週1回合唱をしているが、年間10万かかる。市があらゆるところから徴税のチャンスを探って、いろんなところから徴収をしようかという形で。今まで0だったものが10万も12万もで、地区民のそういう文化的な活動にも非常に負担がかかっている。私たちも会議でやっているが、これ言ってもしょうがないが、市長のお耳に入ってくれば幸い。答えは要らない。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

市民生活部長

- まちづくり補助金は教育委員会の社会教育課が所管している補助金だが、先日全27区の自治協議会会長の皆様に社会教育課から説明があったので、かいつまんで代わりにご説明させていただく。

従来は予算の要求を要望があった分を全部補助していたが、昨年度は実際に申請があった分がそれを上回ってしまって予算の上限を超えたため、按分をして若干減額をさせて交付をされたという状況を説明されていた。令和8年度はそういった状況を踏まえて、昨年度と同様のすべての請求が来たとしても支出できるように今年度の分の予算は獲得されたと聞いている。

詳しくは、社会教育課の方で担当しているので、よろしくお願いいたします。

市長

- 町内会の脱会の話。今地域にとって町内会の入会者が少なくなってきたのは大きな課題だと思う。どうしても一部の皆様方からしたら、“町内会に入るメリットは”と。そういうことを聞かれる動きも、皆さん方もお見受けされることが多いかと思う。入れば何か、いわゆる見返りをするというような中で、なかなか町内会にも入らないというような方も増えているようにも見受けられる。常々言っているが、町内会はある種保険みたいな部分もあるんじゃないかと。特に災害時や犯罪があった時に地域の皆さん方と一緒に保全部や防災に対応できる、そういう意味ではやはりこの町内会があるという位置付けは極めて大きいのではないかと思う。他所からいろいろな犯罪集団などが今入ってくるが、町内会が活発に活動しておられる地域は犯罪が少ないという統計もあるようで、そういう意味でも町内会の存在は極めて大きいと思う。我々としてもそういう町内会の意義をしっかりと丁寧に説明をしながら、できるだけ町内会に入ってもらえるような取り組みをこれからも積極的に進めていきたい。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

市長

まちづくり補助金との関係はわかりかねるが、その点もしっかりと我々、私も踏まえておきたいと思う。

- 施設の利用料は、基本的には受益者負担というようなことがこれからは必要なのかなというお声もありながら、担当とも話して導入をさせていただいている。皆様方の使い勝手のいいような、利便性をできるだけ損ねないようなことも頭に置きながら、そうしたことも考えていきたいなというふうに思う。



令和8年度三川内地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:公共施設の再編と四季彩館の今後について

